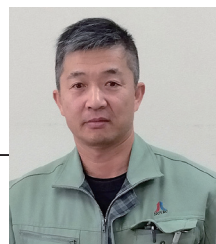


東関東自動車道安全衛生連絡協議会の取組みについて

東関東自動車道安全衛生連絡協議会 会長
株式会社ノバック 三寺 秀樹



安全パトロール

東関東自動車道安全衛生連絡協議会は東関東自動車道水戸線（潮来～銚田）の工事を受注している企業で構成しています。令和5年12月現在での会員は、34社（49現場（北工区25件、南工区24件）です。

北工区、南工区と分かれているのは、潮来IC～銚田ICの距離が30.9kmと長いため、発注者側でも両工区に建設監督官・現場技術員・詰所を配置しています。会員が行っている工事は改良工、下部工、上部工などです。

安全衛生連絡協議会は令和元年6月に発足しています。協議会の目的は、①事故・災害の防止（安全施工に関する情報交換、安全意識の向上）、②技術的向上、③地域への貢献です。また近隣住民の方々に東関東自動車

道事業に対する理解を深めてもらうことにより工事の円滑な進捗を図る事です。

連絡協議会は月1回、WEB方式で開催し、安全パトロールは少人数チームで実施しています。WEB方式

は移動の効率化及び感染症拡大防止、少人数チームでの安全パトロールは、実施者の発言機会を増やす目的です。パトロールは改善を要する事項だけでなく、好事例も取り上げ結果報告書を次月の協議会資料とし、会員へ水平展開を行い自社現場の安全対策の参考としています。

盗難防止対策も協議会で情報を共有し、現場入り口の締め切り方法などの対策を工夫しています。

また協議会として現場事務所などにAEDの設置を推進しています。令和5年7月には実践講習を実施しました。近隣の方々にも使用して

もらえる様、公衆のよく見える場所に看板を設置し明示しています。

地域イベントの協賛として、令和6年3月に実施される「第6回 茨城100kウルトラマラソンin鹿行(ROKKO)」への協賛を行います。マラソン当日、協議会で作成した除菌シート（協議会名入り）もランナーに配布してもらう予定です。

その他の安全対策として、関東地方整備局令和5年度重点的安全対策の垂れ幕・横断幕・看板の製作設置、今年度はヘルメット用ステッカー（協議会名入り）も作成しました。北工区・南工区共に統一感を持った安全管理体制を図っています。

最後に、発注者・協議会会員との連携、地域とのコミュニケーションを大切に、無事故・無災害で工事が進捗できますよう願います。



AED講習会